

部局名	消防本部	所属名	予防課	所属長名	北條 幸夫	電 話	459-7803
-----	------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3360		事務事業名称	予防業務事業						短縮コード	経常	3360	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費		
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		消防法及び火災予防条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
①消防法令の施行により②幼年消防クラブの結成は、平成12年度より国・県の支援を受けた(財)日本防火協会からの助成事業としてスタートする。現在10園の幼年消防クラブが活動しており、毎年秋の全国火災予防運動の時事に幼児から「消防のしごと・火災予防」を理解してもらう目的で消防署に招き、放水体験や煙中体験・車両見学・ビデオ鑑賞などを取り入れた研修会を開催している。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして							
①インターネットの活用で動画ポスターの活用が多くなってくる②益々専門的知識が求められることからより高度な研修が必要となる③立入検査や違反是正の強化が求められる。					大項目（節）	01	市民の安全							
					中 項 目	02	消防							
					小項目（施策）	01	火災予防の推進							
					細 項 目	01	防火意識の普及・啓発							
03	予防指導の強化													
				実 施 計 画 の 計 画 事 業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成20年4月 ～ 平成21年3月		計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	①市民・在勤者②市内の幼稚園児及び保育園児及び市内小中学校生徒③市内防火対象物							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ①火災予防ポスターの配布及び防火ポスター・標語の募集, 審査, 入選作品展示②消防訓練指導③火災原因調査④幼年消防クラブ員研修⑤防火対象物等の立入り検査⑥火災予防条例に基づく届出に関する内容審査及び現場検査							
	※平成22年度に計画していること： ①同上及び違反是正措置の実施②幼年消防クラブ結成園等を増やしていきたい。							
意図 （何を狙っているのか）	①防火ポスター・標語の掲示により防火思想の普及・啓発を図り火災を防ぐ②火災の人的, 物的損害を最少限にする③火災原因, 損害等の過程を究明し, その結果を市民に知らせ災害の発生を防ぐ手立てとする④幼年期において防火等の知識を習得してもらう							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	火災発生件数	件	45	0	55	0	
	指標 2	幼年消防クラブ結成対象幼稚園等の数	園	36	36	36	36	
	指標 3	既存防火対象物及び危険物施設数	件	4, 357	4, 357	4, 411	4, 411	
活動指標	指標 1	火災調査件数	件	9	0	10	0	
	指標 2	幼年消防クラブ研修事業の開催	回	10	10	4	11	
	指標 3	立入検査実施回数	回	340	350	382	390	
成果指標	指標 1	市内の火災発生件数	件	45	0	55	0	
	指標 2	幼年消防クラブ員による失火火災件数	件	0	0	0	0	
	指標 3	防火対象物及び危険物施設からの出火件数	件	13	0	20	0	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3360	事務事業名称	予防業務事業				所属名	予防課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			引き続き今現在できる限りの対応で立入検査や消防訓練を事業所に対し実施し、有効性の向上を図っていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今現在実施している立入検査や消防訓練等を継続する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
①出火原因や損害発生状況等の詳細が求められるようになった②消防訓練の要望が高まってきている③防火思想の啓蒙に広く役立つ有意義な研修									

所属長コメント	予防業務は、市民の安心・安全に寄与するものであり、公共の秩序を維持するうえで必要不可欠と考えますが、現今の災害の複雑多様化、大規模化に伴い、年々業務量が増加していることから、現有職員で業務を円滑に処理するためには、予防技術資格制度を活用し、専門的知識と技術を習得した職員を育成することが必要ですが、職員の育成には時間も経費もかかることから、厳しい財政状況を踏まえ、現有職員の育成を兼ねて、予防業務に精通した再任用職員を積極的に活用して、様々な諸課題に取り組み予防業務の推進を図っていくことが必要と考えられる。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									